

こころる便り

第293号
令和6年8月

〒679-1434
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二
株式会社 新宮運送グループ
代表/木南 一志
Krimami@shingu.co.jp
電話 0791-75-1212



新宮運送ホームページ

シンプル・イズ・ベスト

厳しい暑さが続きます。どうぞ身体を大事に仕事に取り組んでください。誰かが助けてくれるわけでもありませんから、自分で守るかありません。

予想していたことが起きてしまいました。弊社の前には栗栖川という小さな川の対岸に国道179号線が津山方面に向けて走っています。以前にもお知らせしたとおり、工事しやすいところを拡幅して、最も危ない場所が狭く、まるで重大事故を発生させるために道路整備したようなものだと言行政にも強く要望しましたが、全く改善されないうままです。その場所で、立て続けに事故が起きました。

最初は軽四輪車が脱輪、河川側に転覆事故。ガードレールもないので脱輪すれば当然の結果です。次は、弊社のトラックと岡山県側からやってきたトレーラーとの接触事故です。ドライブレコーダーの映像を見ると、カーブになっていて、その場所でトレーラーがセンターラインを大きくはみ出しているのがわかります。どれほど運転が上手であってもはみ出さずには走ることができない危険場所なのです。もしかしらば、弊社のトラックが急停止していたら事故は防げたかもしれませんが、また次の事故を誘発することになるのかもしれない。

原因は、行政の仕組みが分かりにくく、シンプルになっていないために誤解が生まれ、年度予算ということばかりに重点を置いて長期的な計画で進められるべきものが一年ごとになったりしているためです。また、運転免許で例えると、昔は無免許運転は免許証を確認すれば素人でも分かるようになっていました。今では、車検証を確認して、車両の積載重量を見てからでしか判断できなくなっています。行政の規制を細かくして、ややこしくしていくことで、仕事はますますやりにくくなって、手続きだけは印鑑がいらないなどというバカげた仕組みになっていきます。

結果として、事故や違反が発生しやすいような仕組みに作り上げていくことになり、そして、それを改正するために業界団体を通じて政治家に要望するという仕組みが出来上がっていて、根こそぎ変えていくということが難しい世の中となってしまうのです。

自民党が掲げる憲法改正は、根こそぎやり替えていく良い機会だと思いますが、いつまでもたっても実現しません。

子供たちのためにと、大人は口先だけだと言われたくはありません。しかし、何とかならないものか。

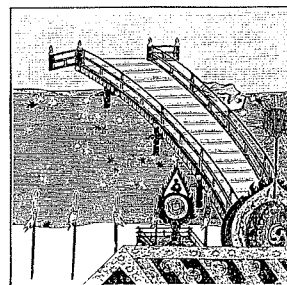
被災地にこころるを寄せながら

木南 一志 拝

尋常小學國史 上巻

第十四 藤原氏の専横 ③

こゝに於て公卿等はきそひて日々數多の工夫を出し、國々のつかさは朝廷にたてまつるものをさしおきて、まづ此の寺の材木・瓦などをさし出せしため、工事ことの外早く出来上り、道長しばらくこゝに居りて薨せり。道長父子の朝廷をおそれたてまつらざることかくの如く、頼通及び其の弟教通も相ついで攝政・関白となりて専横をきはめたり。

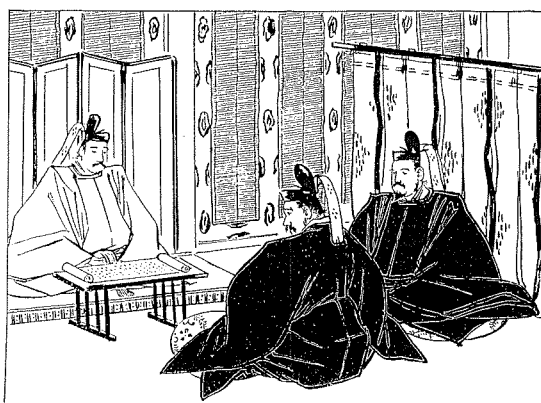


第十五 後三條天皇 ①

藤原氏の勢の最も盛なりしは、道長と頼通との代にして、第七十一代 後三條天皇出でたまふに及びて、其の勢衰へ始めたり。

藤原氏衰へ
始む

後三條天皇は第十代 後冷泉天皇の御弟にして、御年十二にて皇太弟となりたまひ、東宮にいませしこと二十餘年に及びり。然るに天皇の



御母は藤原氏にあらせられざるを以て、關白頼通は其の東宮にいますことを好まざる勢にまかせて専横なるふるまひ多かりしが、天皇はよく之を忍びたまひ、又大江匡房を師として學問にはげみ、内外の歴史にも通じたまひ

し上に、殊に御生れつき厳格にまします。されば頼通は心ひそかに天皇を恐れたまつり、天皇の御即位に先だち、關白を辭して宇治に隠居し、弟教通代りて關白となれり。